

繋がる形

世界津波の日制定記念碑除幕式

4月8日(土) 稲むらの火の館で、11月5日の「世界津波の日」制定を記念した、石碑の除幕式が行われました。

記念碑は津波防災の志を後世に伝えていくために、町内在住の彫刻家である岡本勝利氏(下津木)に依頼して制作されました。

記念碑の題名は「繋がる形」で、動きのあるバランスのとれた空間を構築することで、防災意識の共有化、情報の伝達、人と人の繋がり、連携、共助といった津波防災の在り方への願いが込められています。



春の全国交通安全運動が実施されました



4月6日(木)から4月15日(土)の10日間に春の交通安全運動が実施されました。

運動初日6日には通勤・通学の時間帯に交通安全母の会や交通指導員が広公民館前と広小学校踏切前にて街頭啓発を行い、ドライバー一人ひとりに「春の交通安全運動中です。気をつけてください。」と声をかけ、反射タスキなどの啓発物品を手渡しました。

その後、多くの人に啓発するため、「事故が起こらないように」と願いを込めなごみ交流センター、広小学校前などにのぼりを設置しました。

河川清掃が行われました ～いつまでもきれいに～

毎年恒例の広川地区河川愛護会による河川清掃が4月2日(日)午前8時から行われました。

当日は各種団体の方々や広川流域の区民など大勢のボランティアの方に参加していただいたおかげで、広川は見違えるようにきれいになりました。

広川は私たちの町の名前の由来にもなった川で、私たちの生活を支えています。

私たちの大切な広川を未来の子どもたちに残していきましょう。

参加された皆さん、本当にお疲れ様でした。



広東避難施設が竣工

まもるくん竣工式

4月8日(土)高さ22.5mで500人を収容できる広東避難施設の竣工式が行われました。

当日は小雨にもかかわらず、多くの人を訪れ、竣工式を祝いました。

式典では、西岡町長が「広東町区に2ヶ年計画で住民の命を守る避難施設を建設しました。住民のみならずには普段から慣れ親しんで頂き、安全安心を実感して頂きたいと思います」と挨拶しました。その後、工事の経過報告などが行われ、「まもるくん」の愛称を考えた広小の児童に感謝状と記念品が贈られました。

最後に広東町区の代表区長が「この避難施設が出来たことにより、地域における防災減災、住民の命を守ることに大きく貢献するものと期待しています」と感謝の思いを述べました。式典後には、モチまきが行われ、多くの人で賑わいました。

避難施設の詳しい内容は6月号でお知らせします。



テープカットの様子



多くの人で賑わった桜ウォーク

津木地区で桜ウォーク

3月26日(日)津木地区で桜ウォークが行われました。当日は桜は咲いていませんでしたが、町内外問わずに約100人が参加し、「まだ桜が咲くにはちょっと早かったかな」などと話しながら、スタート地点の滝原温泉ほたるの湯を出発し、往復約6kmのウォーキングを楽しんでいました。

また、折り返し地点では広川町観光協会が用意した豚汁が振る舞われ、津木地区の大自然を満喫しました。

